

○天気の良い晴れた一日、幼稚園の庭で子どもたちが遊んでいた。私がしよに遊んでいたひとりの男の子は、よやく園庭に出て、探険隊になって出て行こうとしていた。突然、戸外で大きな声でアナウンスする声がかきこえ、子どもたちはざわざわとへやに入りはじめた。それは光化学スモッグの警報であった。いまよやく探険隊になって出て行こうとしていた男の子は、もう一度へやにもどろうと誘っても、聞く耳をもたないことはいうまでもない。見ると砂場でも、へやに入りたくないとかんばっている子どもたちがいる。青空に太陽が輝き、雨の多い六月には貴重な一日である。この太陽の恵みを避けて、へやの中に入って窓を閉めきつていなければならないとは何とあわれなことであろうか。光化学スモッグ、ああ、光化学スモッグをひき起こすものは何ぞやと、私は青空を仰いで暗い心になった。

○今月号には、幼児教育の専門的な記

事を少くして、教養的な文章を多くしました。森田宗一氏は、家庭裁判所の判事として、現代最も困難な問題の一つである青少年問題にとり組んでおられ、幼児教育にも大きな関心を寄せておられます。河合隼雄氏は、人間性を深く探究したユングの心理学の研究者です。ユングの心理学は、今後の幼児教育の研究にも大きな示唆を与えてくれるものと思えます。以上、いずれもお茶の水女子大学でなされた講義を掲載したものです。

横張和子氏は、児童問題を専攻され、同時に美学の専門家ですが、とくにいま関心をもっておられる錦織について述べてくださいました。一片の布きれにも、古代の人の知恵と心がこめられているのを知って、驚きました。太田康和氏は、高松塚古墳の発掘に立ち会う幸運にめぐまれた若い学生です。私どもが、何とも思わぬで足の下に踏んでいる土の中にも、無形の宝がかくされているのかもしれない。(津守)

幼児の教育 第七十一巻 第七号

八月号 定価一〇〇円

昭和四十七年七月二十五日印刷
昭和四十七年八月 一日発行

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行者

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村一ノ一

印刷所 凸版印刷株式会社

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所 フレーベル館にお願いいたします